

「公共施設（廃校や既存施設）を利用して集える場所をつくる」

公共施設（廃校や既存施設）を活用し
気軽に集える場所をつくる



全ての世代の人が気軽に集える場所がないため、
交流館や廃校を活用し、市内各地に集える場所をつくる

現状の問題・課題

- ①全ての世代の人が集える場所がない
- ②情報発信の活用ができていない
- ③場所、予算、人材の不足

参考事例・備考

明石市
天文科学館などの体験型施設が充実しており、家族で集いやすい場所が多い

各主体の役割・取組

市民

- ・学生への協力依頼
(高校生・大学生)
- ↑
- SNSの利用などで呼びかけ

企業

- ・企業の広告イベントなどで場所と簡易遊具を提供してもらい市民と企業の橋渡しをする
- ・体験型施設や移動式プレイルームなど親子で集まりやすくするためのイベント協力

・NPO法人の育成

子育て支援団体